

KDDI M2M クラウドサービス (Entry 版)ご利用ガイド (for DMA-T2K)

Rev1.02(2016年10月版)

株式会社 **ハネロン**

目次

1	はじめに	1
2	M2M クラウドサービスの特長	1
3	M2M クラウドサービスご利用開始時の初期設定	2
3.1	通信機器情報の編集	3
3.1.1	通信機器情報の編集	3
3.1.2	複数台の通信機器情報をまとめて操作	4
3.2	企業利用者 ID の設定	5
3.3	通信機器グループの設定	6
3.4	アラート設定	9
3.5	データ形式の登録内容 (※変更不要)	12
4	SMS 送信「DMA-T2K への DO (リレー出力) 制御」「DMA-T2K の位置情報取得」	14
4.1	DO (リレー出力) 制御の操作手順	14
4.2	位置情報取得の操作手順	16
5	DMA-T2K から upload されるデータのモニタリング (企業利用者 ID ログイン)	17
5.1	モニタリング用画面の構成	18
5.2	補足説明	19
6	改訂履歴	21

1 はじめに

本書は、KDDI 株式会社様が運営されている「M2M クラウドサービス(Entry 版)」のご利用方法を説明したものです。(以降、本書では「M2M クラウドサービス」と称します。)

当社の「DMA-T2K」(型番:JK-3705)装置と組み合わせることで、短期間で簡単に M2M をご利用いただけます。

ご利用いただくにあたり、簡単な初期設定が必要になります。(組み合わせるDMA-T2K装置情報の割当てや、お客様環境にアラート情報を通知させる場合の設定を行います。)

設定方法と、運用開始後のM2M クラウドサービスの利用の仕方について説明した内容となっておりますので、お客様においてM2M クラウドサービスを効果的にご利用いただけますよう、本書をよくお読みください。

なお、M2M クラウドサービスには、対象とする装置に合わせてカスタマイズするサービス(運用方法)があり、DMA-T2K用のサービスはカスタマイズした内容となっております。標準のサービス内容とは異なりますので、ご注意ください。(※KDDI 株式会社への申し込みの時点で、サービス内容が切り分けられます。)

2 M2M クラウドサービスの特長

- KDDI のセキュアな閉域網環境で構成される M2M 用のクラウドサービスです。
- お客様環境からは、インターネット(ブラウザ)を介して監視先の「AI」「DI」「停電」情報をいつでも自由にモニタすることができます。
(DMA-T2Kに設定いただいた発信条件ごとに、最新データが随時 Upload されます。)
- データを蓄積していますので、最新値だけでなく変化の履歴(AI 値はグラフ表示)も確認できます。
- アラート条件(DI=ON や AI \geq 指定値など)を設定いただくことで、お客様宛てにアラート情報のメール送信、もしくは音声メッセージの発信を行わせることができます。
- SMS 送信機能を用いて、本機に DO 出力制御を行わせることができます。
- 蓄積データを CSV ファイルとして PC に保存することができます。

3 M2M クラウドサービスご利用開始時の初期設定

「M2M クラウドサービス契約申込書(新規)」によるお申し込み手続き完了後、M2M クラウドサービス画面にログインするための「企業管理者 ID」「Password」情報が KDDI 株式会社から発行されます。
(※「企業管理者 ID」は、お申し込み時に申込書に記載いただいた ID 情報(ご希望の ID)となります。)

- (1) ブラウザで下記のホームページ(URL)を開きます。

<https://m2m-cloud.kddi.ne.jp/kddi/>

- (2) 次のログイン画面が表示されます。
発行された ID とパスワードでログインしてください。

- (3) 初回ログイン時は、Password の変更を要求されます。
予め新しい Password を決めておき、忘れないように控えておいてください。
- (4) 企業管理者 ID でログインしますと、下記構成の管理画面(HOME 画面)が表示されます。

(※●部分には、ご契約いただいたお客様の情報が表示されます。)
(※上記は、3 台分を申込んだ場合の例です。「通信機器数: 3」)

3.1 通信機器情報の編集

「通信機器情報」のタブをクリックすると、下記の画面が表示されます。

通信機器一覧

企業名 ●●●●●●

通信機器数 3

0 of 13 検索条件

IPアドレス	通信機器名	機器製造番号	ドメイン名	ネットワークID	パスワード	グループ情報	状態
10.10.10.100	10.10.10.100		kddim2mcloud1	kmc11111	aaaaaaaa	なし	利用中
10.10.10.101	10.10.10.101		kddim2mcloud1	kmc22222	bbbbbbbb	なし	利用中
10.10.10.102	10.10.10.102		kddim2mcloud1	kmc33333	cccccccc	なし	利用中

クラウドサービスのネットワークへ接続するための設定用情報 (申込み台数分) が発行された状態になっています。

※これらの情報は、DMA-T2K (申込んだ装置ごと) にパラメータとして設定する内容になります。
(設定方法については、設定ソフト操作説明書をご参照ください。)

IP アドレス	DMA-T2Kの「自己 IP アドレス」となります。
ドメイン名	「接続先 APN 情報」となります。
ネットワーク ID	ネットワーク接続時の認証「ユーザー名」の一部になります。 (接続認証ユーザー名は、「ネットワーク ID + @ + ドメイン」の形式です。)
パスワード	ネットワーク接続時の認証「パスワード」となります。

3.1.1 通信機器情報の編集

DMA-T2K設置現場の「AI/DI/停電」情報をモニタする際に、対象装置の識別を分かり易くするための情報を本画面で設定します。

対象とする通信機器情報をクリックして選択①し、「変更」ボタンをクリック②することで、情報編集用の修正画面を開くことができます。

通信機器一覧

企業名 ●●●●●●

通信機器数 3

0 of 13 検索条件

IPアドレス	通信機器名	機器製造番号	ドメイン名	ネットワークID	パスワード	グループ情報	状態
10.10.10.100	10.10.10.100		kddim2mcloud1	kmc11111	aaaaaaaa	なし	利用中
10.10.10.101	10.10.10.101		kddim2mcloud1	kmc22222	bbbbbbbb	なし	利用中
10.10.10.102	10.10.10.102		kddim2mcloud1	kmc33333	cccccccc	なし	利用中

下記の画面が表示されますので、以下の手順で設定を行います。

- (1) 「通信機器名」のデフォルトは IP アドレス内容になっています。
識別し易い名称に変更してください。
(※「AI/DI/停電」情報をモニタする際、各機器はここで設定した名称で表示されます。)
- (2) DMA-T2K宛での SMS 送信機能(リレー出力制御などの指示)をご利用いただく場合は、「通信モジュール電話番号」欄に SIM カードの電話番号を入力してください。
- (3) その他の項目(機器製造番号、IMEI、メモ)については、DMA-T2Kやご契約の SIM カードなどを識別する上で、お客様にとってご都合の良い管理用情報を任意にご記入ください。
- (4) 最後に、「変更」ボタンをクリックして、設定内容を確定させてください。

通信機器情報変更

企業名: ●●●●●●●●

通信機器状態: 利用中

通信機器名: DMA-T2K 0001号機 (1)識別し易い名称を設定します。(左記は例です。)

機器製造番号:

IPアドレス: 10.10.10.100

ドメイン名: kddim2mcloud1

ネットワークID: kmc11111

パスワード: aaaaaaaaa

通信モジュール電話番号: 09012345678 (2)SMS 送信機能(ハイフンなし)をご利用いただく場合、SIM カードの電話番号を設定してください。(左記は例です。)

通信モジュールセンタープッシュ認証ID:

通信モジュール製造番号/IMEI:

利用開始日: 2015-11-18

メモ:

(4)クリックして、設定内容を確定します。 → 変更 取消

3.1.2 複数台の通信機器情報をまとめて操作

通信機器一覧画面にある「インポート」「エクスポート」ボタンをクリックすることで、複数台の通信機器情報について「まとめて変更(インポート)」「設定情報を PC に保存(エクスポート)」できます。

通信機器一覧

企業名: ●●●●●●●●

インポート エクスポート

それぞれ CSV 形式のファイルとなります。

データの形式については、画面右上の「ヘルプ」ボタンをクリックして表示される「オンラインマニュアル」をご参照ください。

KDDI株式会社

ヘルプ ログアウト

3.2 企業利用者 ID の設定

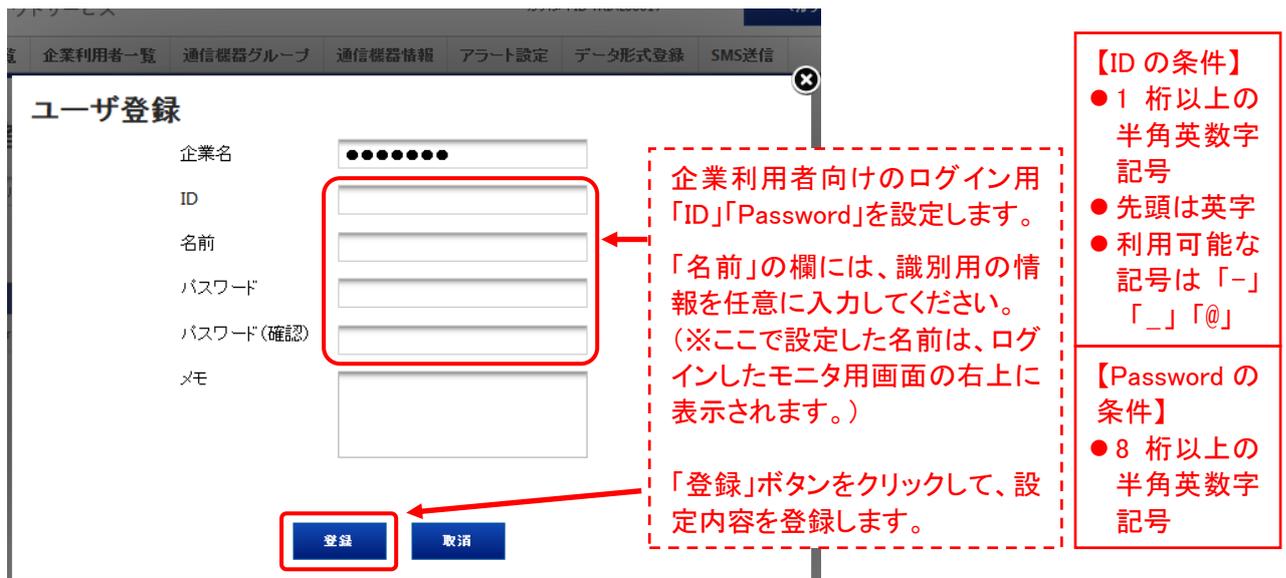
「企業利用者一覧」のタブをクリックすると、下記の画面が表示されます。



「企業利用者 ID」と「Password」を設定します。

企業利用者 ID は、「AI/DI/停電」情報をモニタするためのログイン用 ID です。

「新規登録」ボタンをクリックしますと、企業利用者 ID の設定画面(下記)が開きます。



登録した内容は、下記のように表示されます。(下記は、2 件登録した場合の例です。)



3.3 通信機器グループの設定

「通信機器グループ」を設定していただきますと、登録台数が多い場合に、通信機器名称ごとにグループ分けして表示 (モニタリング用画面) されますので、確認し易くなります。必要に応じて設定してください。



通信機器グループは、最大で 2 階層まで設定できます。左記の例は、1 階層の状態です。(モニタリング用画面)

(1) 「通信機器グループ」のタブをクリックすると、下記の画面が表示されます。



デフォルトは、グループの所属なし状態になっています。

(2) 「グループ追加」ボタンをクリックすると、グループ名の登録画面が表示されます。



(3) グループ名を入力して「登録」ボタンをクリックすると、登録したグループ名が画面に表示されます。



(4) 子グループを登録する場合は、親となるグループ名を選択した状態で、同様の操作を行います。



(5) グループ名の登録が完了した後、各通信機器を何れかのグループに所属させます。

通信機器グループ

[モニタGroup(1)]

[モニタGroup(2)]

[[Group(2)-Sub]]

グループ追加 子グループ追加 グループ名変更 グループ削除

0 of 10 検索条件 検索条件

所属/解除する通信機器を選択してください

所属 解除

通信機器名	現在のグループ
DMA-T2K 0001号機	なし
DMA-T2K 0002号機	なし
DMA-T2K 0003号機	なし

(1)「通信機器」と「グループ名」を選択

(2)「所属」ボタンをクリック

(6) 通信機器のグループ所属操作が完了すると、所属グループ情報が表示されるようになります。

通信機器グループ

[モニタGroup(1)]

DMA-T2K 0001号機

[モニタGroup(2)]

[[Group(2)-Sub]]

DMA-T2K 0003号機

DMA-T2K 0002号機

グループ追加 子グループ追加 グループ名変更 グループ削除

0 of 10 検索条件 検索条件

所属/解除する通信機器を選択してください

所属 解除

通信機器名	現在のグループ
DMA-T2K 0001号機	モニタGroup(1)
DMA-T2K 0002号機	モニタGroup(2)
DMA-T2K 0003号機	モニタGroup(2)-Group(2)-Sub

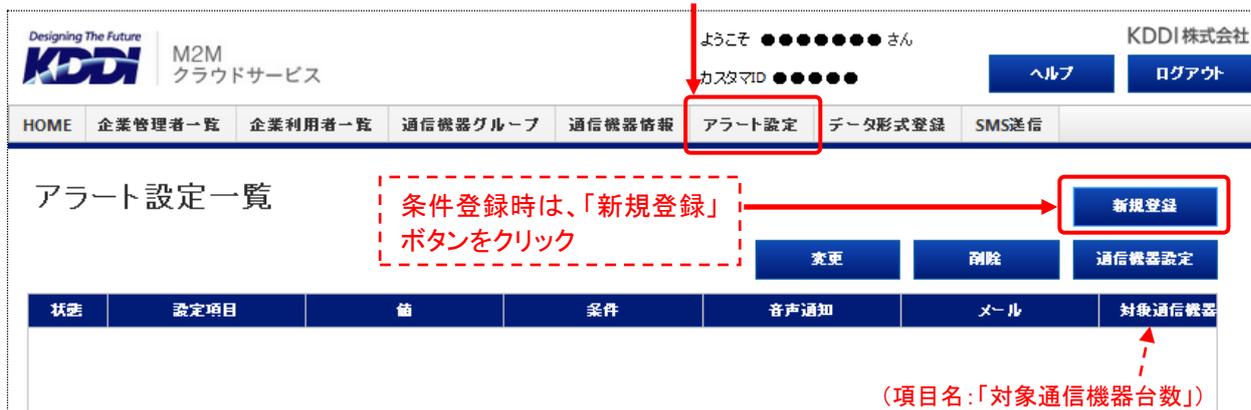
所属先のグループ名が表示されます。

3.4 アラート設定

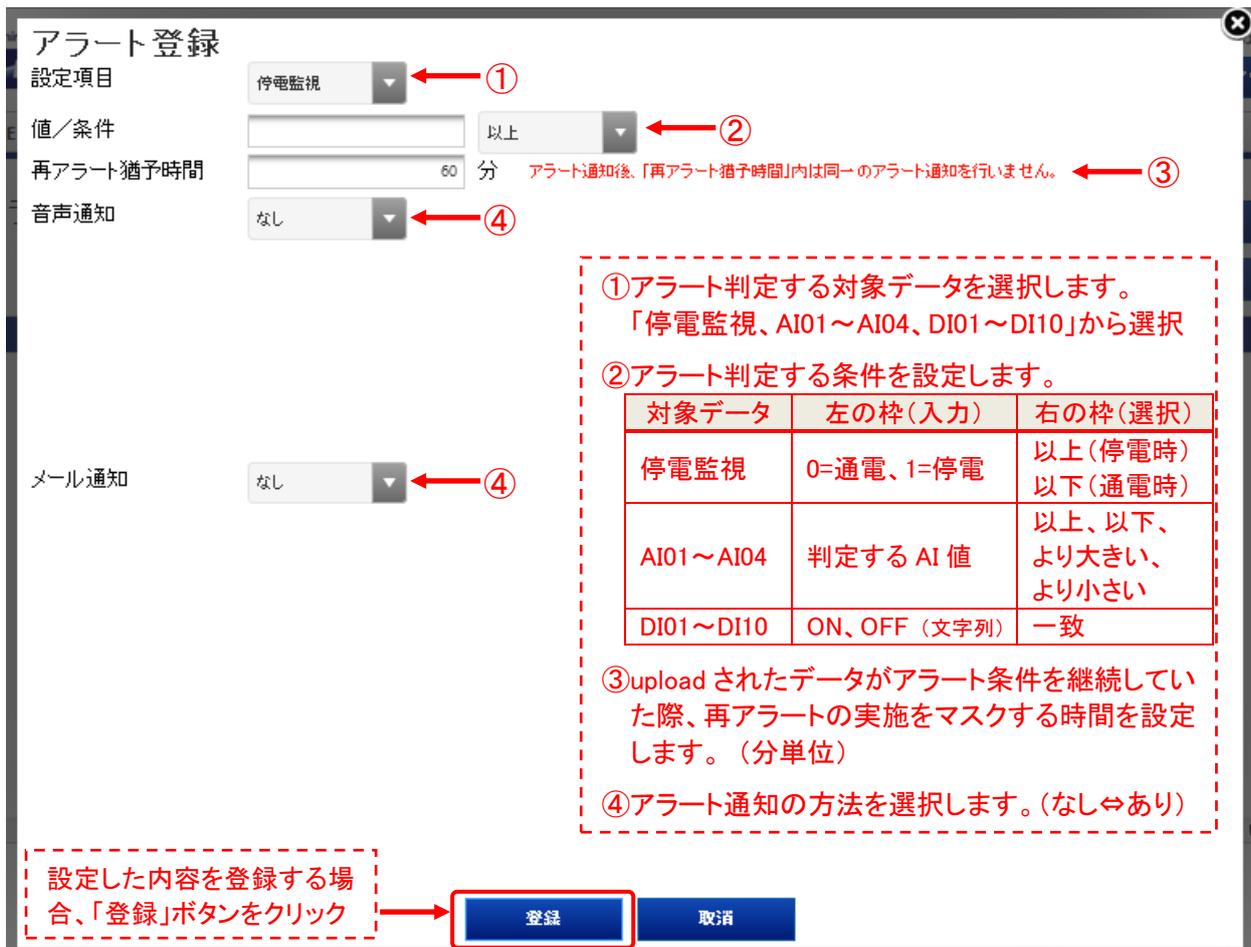
DMA-T2KからM2M クラウドサービス宛てに、設置現場の「AI/DI/停電」データを upload します。
 「アラート設定」とは、upload されたデータに特定の条件が満たされた場合に、M2M クラウドサービスからお客様環境宛てにアラート情報を通知するサービスの利用設定です。必要に応じて設定してください。

アラート通知の種類	「メール通知(無料)」 「音声通知(有料)」
-----------	------------------------

(1) 「アラート設定」のタブをクリックすると、下記の画面が表示されます。



(2) 「新規登録」ボタンをクリックすると、下記の登録画面が表示されます。



(3) アラート判定の「対象データ」「判定条件」「再アラート猶予時間」は、次のように設定します。(下記は例)

アラート登録

設定項目: 停電監視

値/条件: 1 以上

再アラート猶予時間: 60 分

アラート通知後、「再アラート猶予時間」内は同一のアラート通知を行いません。

「値」欄は、「1=停電」「0=通電」を表します。停電発生時にアラート通知する場合、左記のように設定します。

アラート登録

設定項目: CO2

値/条件: 600 より大きい

再アラート猶予時間: 30 分

アラート通知後、「再アラート猶予時間」内は同一のアラート通知を行いません。

「値」欄は、判定値となる AI 値を設定します。「以上」「以下」「より大きい」「より小さい」の中から判定条件を選択できます。

アラート登録

設定項目: DI01

値/条件: ON 一致

再アラート猶予時間: 120 分

アラート通知後、「再アラート猶予時間」内は同一のアラート通知を行いません。

「値」欄は、文字列で「ON」「OFF」を設定します。判定条件は「一致」を選択します。

(4) 音声通知(有料)を行わせる場合、次の設定を行います。

音声通知: あり

通知先電話番号1:

通知先電話番号2:

通知先電話番号3:

リダイヤル回数: 0

メッセージ:

テスト送信

間違い電話を防止するため、音声通知のテスト送信(有料)の実施をお勧めします。

「あり」を選択すると、左記の設定項目が表示されますので、希望する通知内容を設定します。

(5) メール通知(無料)を行わせる場合、次の設定を行います。

メール通知: あり

メールアドレス1: XXXXX@ezweb.ne.jp

メールアドレス2:

メールアドレス3:

件名: DMA-T2K: AI01=High

本文: AI01が高値

発生日時: 2015/3/9 10:40:2

通信機器名称: NNNNNNNNNNNNNN

項目名: AI01

検出条件: 80以上

検出値: 99999

登録 取消

テスト送信

「あり」を選択すると、左記の設定項目が表示されますので、希望する通知内容を設定します。

任意メッセージの後に格納する固定の書式

(3)~(5)の必要事項の設定を行った後、「登録」ボタンをクリックします。

AI01 が高値

発生日時 : 2015/04/08 15:46:53

通信機器名称 : DMA-T2K 0002 号機

項目名 : AI01

検出条件 : 80 以上

検出値 : 81

上記(5)の設定に基づいて送信されるメールの本文は、左記のような例になります。

(6) アラート通知内容を登録すると、下記のように登録した内容がリスト表示されます。

アラート設定一覧

対象通信機器が無い状態になっています。

このボタンで、対象通信機器を選択

新規登録

変更 削除 通信機器設定

状態	設定項目	値	条件	音声通知	メール	対象通信機器
無効	DI01	ON	一致	あり	なし	0
無効	CO2	600	より大きい	なし	あり	0
無効	CO2	250	より小さい	なし	あり	0
無効	停電監視	1	以上	なし	あり	0

(7) アラートリストの何れかを選択し、「通信機器設定」ボタンをクリックして、アラート判定する対象機器 (upload データ) を選択します。

通信機器一覧

通信機器指定

個別指定

0 of 6 検索条件

検索条件

選択	IPアドレス	通信機器名称
<input type="checkbox"/>	10.10.10.100	DMA-T2K 0001号機
<input type="checkbox"/>	10.10.10.101	DMA-T2K 0002号機
<input type="checkbox"/>	10.10.10.102	DMA-T2K 0003号機

全ての機器が対象となる場合、「全通信機器指定」を選択します。

個別に選択する場合、該当する機器のチェックボックスをクリックして、チェックマークを付けます。

選択完了後、「登録」ボタンをクリックします。

登録 取消

(8) 各アラートの対象通信機器を選択すると、下記のような表示になります。

アラート設定一覧

対象通信機器の情報が表示されます。

新規登録

変更 削除 通信機器設定

状態	設定項目	値	条件	音声通知	メール	対象通信機器
	CO2	250	より小さい	なし	あり	全通信機器指定
	CO2	600	より大きい	なし	あり	全通信機器指定
	停電監視	1	以上	なし	あり	1
無効	DI01	ON	一致	あり	なし	0

「無効」表示が消えます。

3.5 データ形式の登録内容（※変更不要）

「データ形式登録」のタブをクリックすると、下記の画面が表示されます。

更新日 2016/10/07 18:51:48

接続方式 TCP/IP無手順ソケット方式

レコード種別 可変長

終端種別 CRLF

文字コード SJIS

フィールド区切り

追加

No.	項目番号	フィールド名	フィールド属性	フォーマット
1	1	日時	時刻(JST)	yyyy/MM/dd HH:mm:ss
2	13	停電監視	数値(10進)	
3	5	AI01	数値(10進)	
4	7	AI02	数値(10進)	
5	9	AI03	数値(10進)	

仮データ参照

変更したフィールド名を確定させる場合、「登録」ボタンをクリック

DMA-T2KはNo.1～16の固定項目を使用します。

- 標準サービスの場合、「機器からM2Mクラウドサービス宛てに upload するデータの形式登録」を本画面で行う必要があります。
- DMA-T2K用にカスタマイズされたサービス内容として、データ形式は登録済みになっています。そのため、上記画面の設定内容については、基本的に変更しないでください。なお、AIとDIのフィールド名については、モニタリング画面で表示される「データ名」を意味します。（※モニタリング画面の内容については、「5.1」項をご参照ください。「AI01」～「AI04」の名称を変更した画面例となっています。）例えば、単位情報を付加（「AI01(mA)」など）することもできますが、次の点に注意してください。

【「データ名」の設定に関する注意事項】

- データ名内で最初に現れる英数字に、小文字は設定できません。（大文字に変換します。）（※なお、数値もしくはアンダースコア(_)に続ける場合は、小文字を設定できます。）
 - 画面レイアウト的に、各データ名に設定可能な文字数には制限があります。表示可能な範囲を超えないような文字数で設定してください。
 - 当該データをクリックすると、画面に「変更」ボタンが表示されます。変更ボタンをクリックしてデータ名（フィールド名の欄）の編集を行えますが、最終的に全ての編集内容を有効にするには、画面右上にある「登録」ボタンをクリックする必要があります。
- 誤って変更してしまい、正しく動作しなくなった場合は、次ページにあるDMA-T2K用のデータ形式設定を登録し直してください。

【DMA-T2K用のデータ形式】

データ形式	TCP/IP 無手順ソケット方式
レコード種別	可変長
終端種別	CRLF
文字コード	SJIS
フィールド区切り	, (※カンマ)

No.	項目番号	データ名	データ形式	フォーマット
1	1	日時	時刻(JST)	yyyy/MM/dd HH:mm:ss
2	13	停電監視	数値(10進)	
3	5	AI01	数値(10進)	
4	7	AI02	数値(10進)	
5	9	AI03	数値(10進)	
6	11	AI04	数値(10進)	
7	16	DI01	文字列	
8	19	DI02	文字列	
9	22	DI03	文字列	
10	25	DI04	文字列	
11	28	DI05	文字列	
12	31	DI06	文字列	
13	34	DI07	文字列	
14	37	DI08	文字列	
15	40	DI09	文字列	
16	43	DI10	文字列	

4 SMS 送信「DMA-T2Kへの DO (リレー出力) 制御」「DMA-T2Kの位置情報取得」

M2M クラウドサービスには、通信機器宛てに任意メッセージの SMS を送信するサービスがあります。DMA-T2Kとの組み合わせで利用できる機能は、「DO (リレー出力) 制御」「位置情報取得」となります。次の手順でご利用いただけます。

4.1 DO (リレー出力) 制御の操作手順

(1) 「SMS 送信」タブをクリックし、下記の画面を表示します。

① DO 制御用の文字列を入力します。

② 宛先の「通信機器」を選択します。
③ 「メッセージ送信」ボタンをクリックします。

(2) 「送信メッセージ内容」欄に、以下の形式で DO 制御用の文字列を入力します。

入力するデータの形式	内容	送信メッセージの例
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Dout nn C mmm </div> ※ [nnCmmm] 部分に制御パターンを指定	Dout 固定の文字列	Dout01H
	nn 出力する ch 番号 [01] = DO1、[02] = DO2	Dout01L
	C 出力する形式 [H] = 常時 ON、[L] = 常時 OFF、[P] = パルス	Dout02P015
	mmm パルス出力形式時の出力時間 001 ~ 999 (単位: 秒)	DO2 を 15 秒間 パルス出力 (15 秒 ON 後、OFF)

(3) 宛先の「通信機器」を選択し、「メッセージ送信」ボタンをクリックすると、該当する DMA-T2K 宛てに DO 制御を指示する SMS が送信されます。

(4) なお、良く使う送信メッセージ (DO 制御用の文字列) は、あらかじめ登録しておくことができます。



(5) 「送信メッセージ選択」欄にある、登録済みメッセージを選択すると、「送信メッセージ内容」欄に、登録済みのメッセージ内容が自動的に入力された状態となります。

(※宛先選択と送信ボタンのクリック操作だけで、DO 制御を指示する SMS を送信できます。)



4.2 位置情報取得の操作手順

(1) 「SMS 送信」タブをクリックし、下記の画面を表示します。

「位置情報取得」を「ON」に切り替えると、送信メッセージのリストに「位置情報取得」が追加されます。

① 位置情報取得を ON に切替えます。
② 「位置情報取得」メッセージが自動的にリストの先頭へ追加されます。

位置情報取得 ON

メッセージ新規登録
メッセージ変更削除

IPアドレス	通信機器名	通信モジュール電話番号	グループ	メッセージ
10.10.10.100	DMA-T2K 0001号機	090●●●●●	モニタGroup(1)	位置情報取得
10.10.10.101	DMA-T2K 0002号機	090●●●●●	モニタGroup(1)	Dout01H
10.10.10.102	DMA-T2K 0003号機	090●●●●●	モニタGroup(2)	Dout01L
				Dout01P005

送信メッセージ内容 **メッセージ送信**

Dout01H

(2) メッセージリスト内の「位置情報取得」を選択して「メッセージ送信」をクリックしますと、対象となるDMA-T2Kから位置情報を取得します。

送信メッセージ内容 **メッセージ送信**

位置情報取得

(3) モニタリング用画面において当該DMA-T2K(通信機器名)を表示対象として選択しますと、画面の末尾に地図データ(Google マップ)が表示されます。(取得操作時点の位置情報)

※本画面右上の「位置情報取得」を「OFF」設定に戻しますと、現在位置を取得済みであってもモニタリング用画面に地図データを表示しません。

※モニタリング画面の地図データ表示内容(例)は、「5.2」項をご参照ください。

5 DMA-T2Kから upload されるデータのモニタリング (企業利用者 ID ログイン)

企業利用者 ID(「3.2」項で設定した ID 情報)でログインしますと、DMA-T2Kから upload された設置現場の「AI/DI/停電」情報をモニタリングできます。

- (1) ブラウザで下記のホームページ(URL)を開きます。

<https://m2m-cloud.kddi.ne.jp/kddi/>

(※企業管理者 ID によるログイン時と同じ URL です。(「3」項参照。))

- (2) 次のログイン画面が表示されます。
発行された ID とパスワードでログインしてください。



- (3) 初回ログイン時は、Password の変更を要求されます。
予め新しい Password を決めておき、忘れないように控えておいてください。

- (4) 企業利用者 ID でログインしますと、下記構成のモニタリング用画面が表示されます。



5.1 モニタリング用画面の構成

次のような画面構成となります。「AI/DI/停電」情報の「現在値」と「履歴」をモニタリングできます。

なお、画面右上の「ヘルプ」ボタンをクリックしていただきますと、「基本的な注意事項」「各項目の説明」を記載したヘルプ画面が表示されます。

モニタリング用画面をご利用いただく際、必ずご一読ください。

ヘルプ画面の説明内容を必ずご一読ください。

画面に表示させたいデータ(機器)を選択します。

AI 現在値が表示されます

DI 現在値と停電/通電情報が表示されます

ヘルプ

AI 値の履歴をグラフ表示で確認できます。対象期間(Max30日)とchを選択します。画面表示できるのは576件までとなり、対象件数を超える範囲は、ページ切替で確認できます。

(※以下は、上記画面を下方方向にスクロールして表示させた際の画面後半部分です。)

「3.4アラート設定」に基づいてお客様環境宛てにアラート通知を行った履歴が表示されます。

AI グラフエリアで表示している範囲(期間)の「AI」「DI」履歴データが表示されます。

■アラート一覧

日時	通信機器名	エラー内容	確認
2016/08/03 14:32:37	DMA-T2K 0002号機	[DI01が条件[ON一致]と一致][現在値:ON]	<input type="checkbox"/>
2016/08/03 14:32:37	DMA-T2K 0002号機	[温度が条件[30以上]と一致][現在値:849]	<input type="checkbox"/>
2016/08/03 14:21:55	DMA-T2K 0002号機	[温度が条件[30以上]と一致][現在値:565]	<input type="checkbox"/>
2016/07/01 11:53:45	DMA-T2K 0002号機	[DI01が条件[ON一致]と一致][現在値:ON]	<input type="checkbox"/>

■アナログch履歴

日時	CO2	温度	湿度	汎用AI
2016-10-11 08:48:47	400	26.6	43.4	305
2016-10-11 08:43:47	370	26.6	42.9	305
2016-10-11 08:38:47	374	26.5	42.9	305
2016-10-11 08:33:47	374	26.5	42.9	305

■接点ch履歴

日時	停電監視	DI01	DI02	DI03	DI04	DI05	DI06	DI07	DI08	DI09	DI10
2016-10-11 08:48:47	通電	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
2016-10-11 08:43:47	通電	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
2016-10-11 08:38:47	通電	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
2016-10-11 08:33:47	通電	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

5.2 補足説明

- ログインした際、(DMA-T2KからM2Mクラウドサービス宛てにupload済みの)最新データが表示されます。ログイン後、時間が経過している場合、「リフレッシュ」ボタンをクリックすることで最新データの表示に更新されます。
- DMA-T2Kで扱う AI 値の設定を変更する(工業値として扱う値への変換設定を行う)ことで、表示される値の書式が変わります。
また、DMA-T2Kに「AI=未使用」を設定した場合、当該 ch の AI 値部分は未表示となります。
(※DMA-T2Kの設定変更方法については、設定ソフト操作説明書をご参照ください。)
- 「停電監視=停電」状態の場合、当該日時の「AI」「DI」データは全て未表示となります。
- 「オートリフレッシュ」を「ON」に切り替えますと、60 秒毎に「最新データへの表示更新」が自動的に行われます。(最新データを基準にした表示範囲となります。)



- AI グラフデータの対象範囲([先頭日時]~[期間])を変更する場合、それぞれをクリックして条件を設定します。
[先頭日時]部分をクリックしますと、カレンダー画面が表示されますので、日時設定後に「決定」ボタンをクリックします。
[期間]部分をクリックしますと、「1 時間/6 時間/12 時間/1 日間/7 日間/14 日間/30 日間」のリストが表示されますので、何れかを選択します。
対象範囲を設定した後、「実行」ボタンをクリックしますと、グラフ表示(対象範囲)が切り替わります。

↓先頭日時

↓期間

対象範囲設定後、クリック

カレンダー画面表示

期間のリスト表示

- 過去データの AI グラフを参照する場合、「オートリフレッシュ」ボタンは「OFF」にしておいてください。
(※60 秒毎に、表示内容が最新データへと切り替わるためです。)
- 表示されている AI 現在値 (何れかの ch) をクリックすると、当該 ch のグラフ内容へと表示が切り替わります。
(グラフ表示画面で、表示 ch を切り替えたときと同じ動きになります。)
- 表示されているグラフの何れかのポイント (データ) をクリックすると、「アナログ ch 履歴」「接点 ch 履歴」内の当該データが選択表示された状態に切り替わります。
(※該当する時間帯および前後の全データを確認し易い状態になります。)
- 「AI01」～「AI04」「DI01」～「DI10」の「データ名」表示は、「3.5 データ形式の登録内容 (※変更不要)」画面で変更できる仕組みになっています。
(※「5.1」項の画面例は、「AI01」～「AI04」のデータ名を変更した内容です。)
(※「データ名」の設定については、注意事項があります。「3.5」項をご参照ください。)
なお、誤った変更を行うと、データが表示されなくなるなど、正しくご利用いただけなくなる状態に陥る可能性がありますので、変更する際は十分に注意してください。
- DMA-T2Kから位置情報を取得して「位置情報取得=ON」に設定している場合 (※「4.2」項の手順参照)、画面の末尾に地図データ (Google マップ) を表示します。

■接点ch履歴

日時	停電監視	DI01	DI02	DI03	DI04	DI05	DI06	DI07	DI08	DI09	DI10
2016-10-07 19:14:14	通電	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
2016-10-07 19:09:14	通電	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
2016-10-07 19:04:14	通電	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
2016-10-07 18:54:23	通電	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

■位置情報 [DMA-T2K 0002号機] 2016/10/07 19:17 現在

- 機能改善により、画面の操作方法などが一部変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

